

生活にファインクオリティ

sala

証券コード: 2734

第9期中間報告書

平成21年12月1日から平成22年5月31日まで

株式会社サーラコーポレーション

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループにご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第9期中間期（平成21年12月1日から平成22年5月31日まで）の概況についてご報告申し上げます。

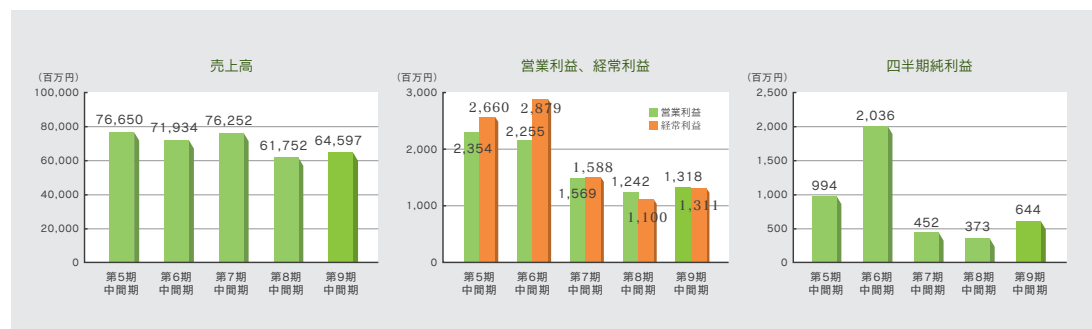
中間期業績

当中間期は、主力のエネルギー業界で原料価格が昨年に比べ高い水準で推移し、また企業の設備投資が低調となったことなどが、当社グループの事業活動に影響を及ぼしました。

業績につきましては、エネルギーサプライ&ソリューション事業において、事業強化のため連結会社を1社加えたことによるLPガス・石油製品の販売数量の増加、カーライフサポート事業における輸入車販売台数の増加などにより、売上高は前年同期比4.6%増の64,597百万円となりました。

売上原価は、原料価格の上昇により前年同期比4.9%増の48,968百万円、売上総利益は前年同期比3.6%増の15,628百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は、削減に努めましたものの連結会社の増加もあり、前年同期比3.3%増の14,310百万円となりました。

以上により、営業利益は前年同期比6.1%増の1,318百万円、経常利益は前年同期比19.1%増の1,311百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損64百万円、固定資産の減損損失144百万円を計上したことなどにより、前年同期比72.4%増の644百万円となりました。



当中間期に実施した主な施策

今日、わが国では急速に社会構造が成熟化し、マーケットにも大きな変化が生じています。企業の製品やサービスに関する情報が溢れ選択肢が増えるなか、お客さまの購買に対する意識も変化し、新たな顧客価値を創造することが企業には求められています。

このような環境の変化を受け、当社グループは当中間期におきまして主に下記の施策を実施しました。

現在、サーラグループでは、多様化するお客さまの価値観にあわせた提案を行うため、グループ力を最大限に発揮するプラットフォームを築いております。ITシステムにおいて、エネルギー事業を営むガステックサービス株式会社³が、サーラグループを構成する中部瓦斯株式会社との間で、共同開発を進めてまいりました情報システムの運用を平成22年5月より一部開始しました。これはサーラグループ共同情報システムとして、お客さま情報の一元管理による業務の効率化、並びに地域密着型マーケティング機能の強化を目的としております。

また、お客さまのライフスタイルを豊かに創造するスペース「サーラプラザ」の展開を引き続き推進しております。昨年の「サーラプラザ豊橋」に続き、平成22年秋には「サーラプラザ浜松」をオープンいたします。従来のエネルギーを主体としたお客さまとの関係をより密接にし、暮らしのなかのさまざまな要望に速やかに応える体制づくりに全力を上げて取り組んでおります。

エンジニアリング&メンテナンス事業では、事業再編により平成22年4月、株式会社中部にTF（トータルファシリティ）事業部を新設しました。これは、ガス配管工事部門を統合することにより業務の効率化を図るとともに、太陽光発電をはじめとした新エネルギー関連の施工からメンテナンスまで、一貫したトータルホームファシリティサービスの提供に向けた戦略に基づくものであります。

新たな事業戦略への積極的な取り組みと、事業効率の一層の向上により、当期の計画を確実に達成していく所存です。

今後も、株主価値の最大化に向けて取り組んでまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

神鈴吾郎



事業セグメント別の概況

全体

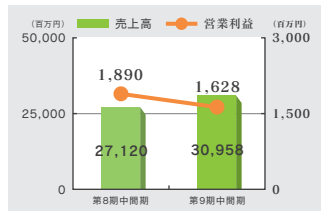
単位：百万円

	売上高	営業利益
サーラコーポレーション	64,597	1,318
エネルギーサプライ&ソリューション事業	30,958	1,628
エンジニアリング&メンテナンス事業	11,826	54
カーライフサポート事業	5,962	161
アニマルヘルスケア事業	10,283	126
ロジスティクス事業	1,341	212
ホスピタリティ事業	1,312	△ 405
その他の事業	2,912	△ 118
消去または全社	—	△ 341

エネルギーサプライ&ソリューション事業

売上高 30,958百万円（前年同期比14.2%増）
営業利益 1,628百万円（前年同期比13.8%減）

平成21年7月に、グッドライフサーラ関東株式会社を連結子会社化したことにより、LPガスの販売数量は前年同期比15.5%増の129,772t、石油製品の販売数量は3.5%増の83,795klとなり、売上高は増加しました。利益面では、営業費用の削減に努めたものの、原料価格が上昇し売上原価が増加したことにより、営業利益は減少しました。

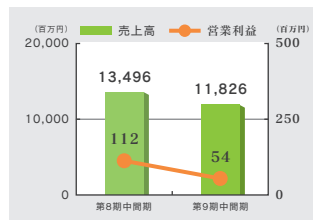


（注）従来、ガス配管工事事業につきましては「エネルギーサプライ&ソリューション事業」に含めて表示していましたが、当期より「エンジニアリング&メンテナンス事業」に含めて表示することに変更しました。前年同期比較にあたっては、前期中間期の実績値を変更後の区分に組み替えています。

エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高 11,826百万円（前年同期比12.4%減）
営業利益 54百万円（前年同期比51.8%減）

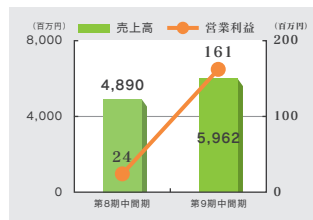
設備・土木・建築の各分野において受注の確保に努めましたが、取引先における設備投資の抑制等による影響を受けたことなどにより、売上高、営業利益ともに減少しました。



カーライフサポート事業

売上高 5,962百万円（前年同期比21.9%増）
営業利益 161百万円（前年同期比558.8%増）

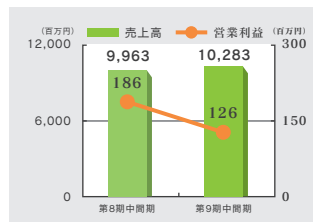
これまでに購入されたお客さまへの積極的な営業活動を行ったことに加え、エコカー減税対象車の投入も寄与したことから、フォルクスワーゲン車、アウディ車とも販売台数が増加し、売上高、営業利益ともに増加しました。



アニマルヘルスケア事業

売上高 10,283百万円（前年同期比3.2%増）
営業利益 126百万円（前年同期比32.1%減）

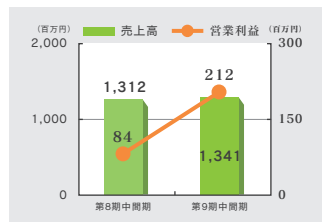
ペット関連分野において、ペット向け医薬品に加え、療法食の販売が好調に推移したことにより、売上高は増加しました。利益面では、ペットビジネスの主要マーケットである首都圏への進出、並びに療法食販売における新システム関連の先行投資による費用増加があり、営業利益は減少しました。



ロジスティクス事業

売上高 1,341百万円（前年同期比2.2%増）
営業利益 212百万円（前年同期比152.5%増）

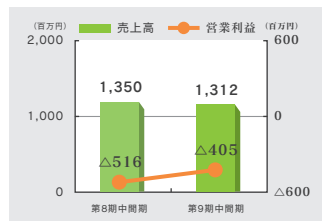
景気の動向を反映して一般貨物輸送量が減少しましたが、石油類などの輸送量が増加したこと、サーラ引越便など地域に密着した生活関連サービスに注力したことなどにより、売上高は増加しました。また、経費削減の効果が表れたことにより、営業利益は増加しました。



ホスピタリティ事業

売上高 1,312百万円（前年同期比2.9%減）
営業損失 405百万円（前年同期は営業損失516百万円）

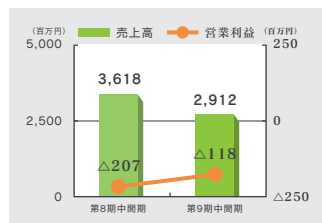
ホテル・外食部門において、長引く個人消費の低迷の影響もあり、売上高は減少しました。平成20年9月に開業したホテルアークリッシュ豊橋は開業時の取支計画に基づき黒字化をめざします。現在、営業費用の削減とともに魅力ある商品の開発、マーケティング強化に努めています。



その他の事業

売上高 2,912百万円（前年同期比19.5%減）
営業損失 118百万円（前年同期は営業損失207百万円）

自動車部品製造事業では、主要取引先の減産の影響を大きく受けました。また、ソフトウェア開発事業においても、受注先企業における設備投資の低迷を受けたことにより、売上高は減少しました。利益面では、営業費用の削減に努めたことにより、営業損失は半減しました。

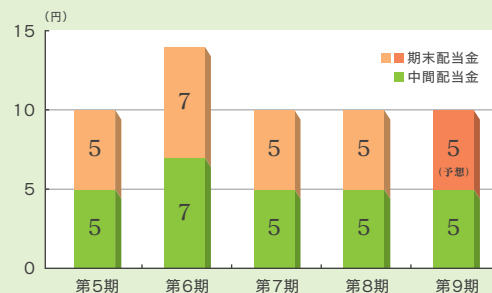


期 末 配 当 予 想

当社は配当の基本方針を、取締役会にて下記のとおり決議しています。したがって、期末の配当につきましては1株当たり5円（中間配当金とあわせて年10円）を実施する予定です。

配当の基本方針

- ① 連結配当性向30%を目途として配当を行います。
- ② 最低年間配当金として1株につき年10円（中間・期末各5円）を維持します。



中間連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	当中間期 (H22.5.31現在)	前期末 (H21.11.30現在)
(資産の部)		
流動資産	36,238	35,549
現金及び預金	8,278	9,028
受取手形及び売掛金	17,901	17,553
商品及び製品	3,942	3,586
仕掛品	2,508	1,575
原材料及び貯蔵品	143	137
その他	3,463	3,667
固定資産	63,002	63,639
有形固定資産	50,958	51,648
建物及び構築物	18,150	18,750
機械装置及び運搬具	2,798	3,116
導 管	2,753	2,859
土 地	22,596	22,611
建設仮勘定	690	74
その他	3,969	4,235
無形固定資産	3,769	3,533
投資その他の資産	8,274	8,458
投資有価証券	3,339	3,383
繰延税金資産	2,203	2,142
その他	2,730	2,932
資産合計	99,240	99,188

科 目	当中間期 (H22.5.31現在)	前期末 (H21.11.30現在)
(負債の部)		
流動負債	45,325	44,868
支払手形及び買掛金	15,446	14,396
短期借入金	19,115	19,105
1年内返済予定の長期借入金	3,026	2,602
賞与引当金	815	1,270
その他	6,922	7,493
固定負債	26,790	27,722
長期借入金	17,349	18,181
退職給付引当金	5,383	5,323
その他	4,058	4,217
負債合計	72,116	72,591
(純資産の部)		
株主資本	25,791	25,341
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	9,019	9,019
利益剰余金	9,694	9,242
自己株式	△ 947	△ 945
評価・換算差額等	165	115
その他有価証券評価差額金	165	115
少数株主持分	1,167	1,140
純資産合計	27,123	26,597
負債純資産合計	99,240	99,188

■ 連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当中間期 自H21.12.1 至H22.5.31	前中間期 自H20.12.1 至H21.5.31
売上高	64,597	61,752
売上原価	48,968	46,662
売上総利益	15,628	15,090
販売費及び一般管理費	14,310	13,848
営業利益	1,318	1,242
営業外収益	282	224
営業外費用	289	365
経常利益	1,311	1,100
特別利益	109	13
特別損失	238	303
税金等調整前四半期純利益	1,181	811
法人税、住民税及び事業税	310	300
法人税等調整額	150	146
少数株主利益	76	△ 9
四半期純利益	644	373

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当中間期 自H21.12.1 至H22.5.31	前中間期 自H20.12.1 至H21.5.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,715	4,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,773	△ 4,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 691	3,383
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 749	3,456
現金及び現金同等物の期首残高	9,028	7,099
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,278	10,556

会社の概要および株式の状況

平成22年5月31日現在

■ 商 号	株式会社サーラコーポレーション		
■ 設 立	平成14年5月1日		
■ 資 本 金	80億2,500万円		
■ 証券取引所	東京証券取引所	市場第一部	
	名古屋証券取引所	市場第一部	
■ 役 員	代表取締役会長	中 村 捷 二	
	代表取締役社長	神 野 吾 郎	
	常務取締役	松 井 和 彦	
	常務取締役	原 田 保 久	
	取締役	角 谷 歩	
	取締役	磯 村 直 英	
	取締役	一 柳 良 雄	
	取締役	石 黒 和 義	
	監査役（常勤）	鈴 木 洋 二	
	監査役	山 崎 康 夫	
	監査役	中 山 正 邦	
	監査役	杉 井 孝	
■ 従 業 員 数	2,855名（連結）		

■ 連結子会社

エネルギーサプライ&ソリューション事業
ガステックサービス(株)

三河湾ガスターミナル(株)

(株)日興

神野オイルセンター(株)

(株)リビングサーラ

グッドライフサーラ関東(株)

■ エンジニアリング&メンテナンス事業

(株)中部

神野建設(株)

中部菱光コンクリート工業(株)

西遠コンクリート工業(株)

(株)中部技術サービス

中設工事(株)

中部三洋システム(株)

■ カーライフサポート事業

サーラカーズジャパン(株)

■ アニマルヘルスケア事業

(株)アスコ

大和医薬品工業(株)

■ ロジスティクス事業

サーラ物流(株)

■ ホスピタリティ事業

ガステックサービス(株)

■ その他の事業

ガステックサービス(株)

新協技研(株)

テクノシステム(株)

中部クレジット販売(株)

サーラフィナンシャルサービス(株)

(株)サーラビジネスソリューションズ

■ 発行可能株式総数…………… 120,000,000株

■ 発行済株式総数…………… 40,338,708株

■ 株主数…………… 3,701名

■ 大株主

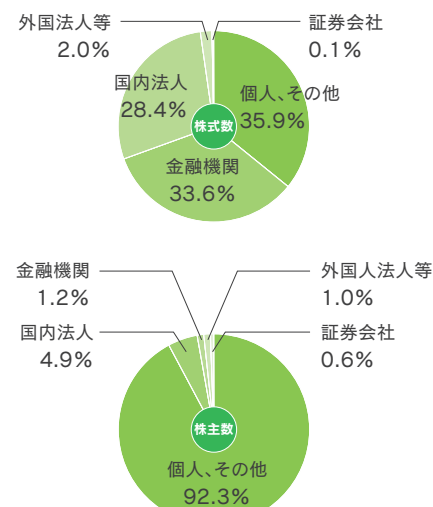
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
中部瓦斯株式会社	5,921	15.20
サーラコーポレーション従業員持株会	1,867	4.79
中部ガス不動産株式会社	1,833	4.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社※	1,823	4.68
ガステックサービス共栄会	1,653	4.24
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,560	4.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,498	3.84
株式会社静岡銀行	1,495	3.84
株式会社三井住友銀行	1,197	3.07
株式会社みずほ銀行	957	2.45

※中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTBエクイティインベストメンツ株式会社信託口)

● 当社は自己株式1,404千株を保有していますが、上記大株主から除いています。

● 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布



株主メモおよび株主優待のご案内

株主メモ

■ 事業年度

12月1日～翌年11月30日

■ 定時株主総会

毎年2月中

■ 基準日

定時株主総会の議決権・期末配当 11月30日
中間配当 5月31日

■ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

〒105-0014 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

■ 株主名簿管理人事務取扱場所

〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部

■ 郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

■ 電話照会先

☎ 0120-78-2031

■ 取次窓口

中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

■ 公告方法

電子公告（当社ホームページに掲載します）
<http://www.sala.jp>

ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

■ 単元株式数

500株

株主優待のご案内

当社では日頃の株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、当社グループへの一層のご理解を賜りたく、以下のとおり株主優待制度を実施しています。

■ 対象

毎年11月末日現在における500株以上所有の株主

■ 内容

ご所有の株式数に応じて、下表の金額分の株主優待券をお届けしています。株主優待券の有効期限は一年間となります。

所有株式数	優待内容
500株以上 5,000株未満	1,000円分の株主優待券
5,000株以上 10,000株未満	5,000円分の株主優待券
10,000株以上	10,000円分の株主優待券

■ ご利用方法

株主優待券は、当社グループのガステックサービス(株)が販売するガス機器、同社が運営するガソリンスタンドでの給油・洗車、ホテルアークリッシュ豊橋での宿泊、同ホテル内のレストランでの飲食などにご利用いただけます。

ご利用店舗が近くにない株主さまには、株主優待券相当分の商品をお送りさせていただきます。



キッチン飛騨ビーカレー
価格3,500円（送料・税込）
3缶入り



手延べそうめん
価格3,000円（送料・税込）
20食入り



瀬美温室メロン
価格5,000円（送料・税込）
一箱2玉入り

お問い合わせ先

株式会社サーラコーポレーション 総合企画部 広報・IRグループ ☎ 0532-51-1184